

DXにブレーキをかけない。 レッツノートの導入で故障率が“10分の1以下”に



株式会社ベネッセ ホールディングス 様

導入時期：2022年～
導入地域：全国

課題

コロナ禍のPC利用においてスペック不足からの不具合や故障が続き、社内全体のDX推進が進まない状況。

解決策

テスト使用を経て、社員のアンケートでレッツノートが最高評価を得る。2022年より利用を開始し、FV/SR/SV/LVシリーズを用途に合わせて選定。

“故障率が10分の1以下になり、PCトラブルも減ったことで、DX推進が加速しました。”



専務執行役員
CDXO 兼
Digital Innovation
Partners 本部長
橋本 英知 様

※所属は納入時のものです。

背景

DX推進や営業現場において、PCがブレーキをかけている状況。

コロナ禍で営業スタイルが対面からオンラインに変わり、複数のアプリを立ち上げてお客様に説明する機会が増えるなかで、「フリーズした」「画面共有ができない」などの問題が頻発していました。加えて、リモート環境におけるセキュリティ対策として、今までにないセキュリティスイートをPCにインストールすることに。その影響でメモリーが減りPCのレスポンスが悪くなる問題も出てきました。PC起動に何分もかかっているようではDXどころではありません。

また、対面での営業シーンにおいて様々な課題がありました。学校様との商談時に、「PCが立ち上がらない」などのPC起因の問題でビジネスチャンスを失うケースがありました。このような経緯から、「信頼性の高いPCを入れて欲しい」というニーズが現場から上がり、現場の要求を満たすPCの導入を検討することになりました。

導入した理由

社用PCであっても、個人の所有物としての「愛着や使い心地」は重視したい。

PCを選定する際、色々なメーカーの機種をオフィスに置いて、社員の皆さんに実際に触って満足度を採点していただく機会を設けました。採点項目には「操作性・使いやすさ」「持ち歩いた時の感覚」「カバンに入れた時の重心の安定感」など、数字では測りきれないスペック以外の感覚的要素も基準として追加。その結果、群を抜いて評価が高かったのがレッツノートでした。

PCは仕事の相棒として会社でも家でも長く使うものです。社員の皆さんが快適かつ安心して使え、気持ちの面でも「愛着を持って大切に使う」と思えるようなPCをお渡すことが、仕事の質を高める意味でも大切だと考えています。社用PCを導入する上で当然「コスト」は重要ですが、「初期コスト」だけで見ると見誤るところがあると思っています。今回私たちがPC選定時に重視したのは「コスト×性能×信頼性」の3つの要素をすべて極めて高いレベルで満たすこと。故障や不具合によって発生するコストもトータルに見た上で、最適コストであるかどうかを判断することが重要だと考えています。

お客様紹介

ベネッセグループ様は、教育や介護・保育、生活の領域で幅広いサービスを展開されています。企業理念「Benesse = よく生きる」のもと、経営の軸となるグループバリューを定め、「人」に関わる社会課題の解決を目指されています。

- 所在地 岡山県岡山市北区南方 3-7-17
- URL <https://www.benesse.co.jp/>

レッツノート FV/SR/SV/LV シリーズ

導入後の効果

故障率は10分の1以下に。
「レッツノートにしてくれてありがとう」の声が勇気に。

レッツノートを導入して2年近くになりますが、故障率が本当に低いことに驚いています。従来使っていた他社機種と比べると10分の1以下程度でしょうか。以前、神戸工場を見学させていただいた際に、様々な耐久試験を拝見したことがあります。その時に改めて理解したのですが、落下試験や満員電車並みの加圧振動試験や高湿度試験など、レッツノートは「日本でありがちなシーン」をリアルに想定して耐久試験を行っているからこそ、故障や不具合が少ないということです。

また、レッツノートを導入して以来、様々な部署や職種の方々から「レッツノートにしてくれてありがとう!」と言われるようになりました。この言葉は、導入を決めた私たちとしても勇気になります。「情シスのみんなも私たちの気持ちをわかってくれたんだ!」といった話になることも多く、そもそも型番や品番ではなく、「レッツノート」という固有名詞で呼ばれるPCという時点で、社員の皆さんからの愛着を感じます。

薄型軽量・長時間駆動を叶えるレッツノートで、オフィスでのコラボレーションが活性化。

今アフターコロナになって、オフィスという場の定義が変わってきていると感じています。在宅ワークが一人で作業するワークスタイルであるなら、オフィスはコラボレーションや共創を前提としたスペースとして再定義できると考えています。レッツノートの薄型軽量・長時間駆動により、長い充電ケーブルを持って移動する必要もなく、オフィスを移動して誰かとセッションして、また移動して別の誰かとセッションする。そんなフレキシブルで刺激的な働き方も可能になりました。以前と比較してコラボレーションが活性化し、アイデアの共有や意見交換も円滑に行われるようになったと実感しています。



▲キーボードの打ちやすさや、ホイールパッドの使いやすさなど、レッツノートならではの機能が社員の皆さまからも好評。



▲充電ケーブルを持ち運ぶことなく、オフィスの様々な場所で社員同士のコラボレーションが行われるようになった。

今後の展望

レッツノートという余裕のあるエンジンで、DXを一気に加速させていく。

ベネッセでは現在、「人が主役のDX」を掲げ、「事業フェーズに合わせたDX推進」と「組織のDX能力向上」の2軸でDXを推進しています。DXで成果を上げるには社員の仕事の質が重要です。DXにおいてPCはあくまでツールのひとつですが、使い方次第で生産性が下がることもあります。ツールがDXにブレーキをかけないということが重要なので、その観点で言うと、レッツノートはまさにDXを加速させる余裕のあるエンジンです。とは言え、操作するドライバーはあくまで人。人の士気を高めるPCをお届けすることで、今後もDXを推進していければと思います。

顔が見えるお付き合いと共にレッツノートがある。
今後はスリムワークサポートの活用でさらに快適な運用を。

PC運用管理サービスが付帯する「スリムワークサポート」は、故障時の保険申請処理などの業務がラクになりました。今後拡張されるサービスも含めて活用していきたいです。

社内の技術者だけでは対応できないPCの不調が起きた時は、パナソニックさんは部署横断でワンチームで対応いただけ助かっています。担当いただく方の「顔が見える仕事」があってレッツノートという製品が成り立っているのだなと思います。この関係をずっと続けていきたいですね。

関連機器

Let's note

ビジネスモバイルPC レッツノート

軽量&頑丈で持ち運びやすく、高性能CPU搭載で作業がスムーズ。ハイブリッドワークを快適にします。



スリムワークサポート

ビジネスモバイルPC レッツノートとPC運用管理サービスが付帯する法人向けサブスクリプションサービスです。情報システム部門の業務効率化と生産性向上を支援します。

その他の納入事例に関しては、ホームページをご覧ください。

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/letsnote>

